

鎌ヶ谷市 市民活動推進センター だより



鎌ヶ谷神輿愛好会

(詳細は4頁に掲載)



目次

鎌ヶ谷神輿愛好会 (写真紹介)	p 1
NPO法人 ハートケアベル (団体紹介)	p 2
NPOの自治体との協働意向 (データでみるNPO活動)	p 3
NPOと行政・協働の再構築 (図書紹介)	p 3
助成金情報 (お知らせ)	p 4
任意団体からNPO団体への移行について (Q&A)	p 4

NPO法人 ハートケアベル

お互いの笑顔を大切に満足のいくお手伝いを・・・

《代 表 者》 武田 康弘
 《所 在 地》 〒273-0125 鎌ケ谷市初富本町
 2-11-8
 《連 絡 先》 TEL 047-402-6936
 FAX 047-402-6937
 e-mail : bell-kamagaya@tbz.t-com.ne.jp



【活動の目的は？】

「家族と自宅で一緒に生活したい」という気持ちを大切に、家族の介護負担を軽減し、みんなが笑顔に包まれた日常生活が送れるように援助します。

【活動テーマ】

お互いの笑顔を大切に、利用者が満足するお手伝いをすること。

【活動内容】

活動初年度で利用者の拡大は勿論ですが、サービス体制拡充に向け、職業安定所への求人広告、インターネット求人サイト等への募集をしています。チラシ・パンフレット等を活用し、介護支援専門員のいる事業所・病院・関係施設等への働きかけを継続的に展開しています。

【活動に至った経緯は？】

鎌ケ谷市内は果樹園等がたくさん存在しており、古くから住んでいる家庭も多く、自宅を離れられない高齢者が多く見られたことから、利用者にとって家族的な存在となり、一人一人のさまざまなニーズに応えられる、訪問介護を中心とした事業所を構え、社会の手助けをしていきたいと思い活動を始めました。

【アピールポイントは？】

私たちスタッフは利用者とのハートとハートのふれあいを大切に安心・安全・安楽をモットーにハートのこもったサービスをいたします。専門スタッフが専門的な技術・知識で、身体介助、生活援助などをいたします。

【実績・成果】

活動内容が徐々にではありますが、成果に結び付きつつあります。

介護保険法に基づくサービス利用者の他、保険外の利用者の紹介も少なくありません。家事全般のサービスを行っています。

【問題点、課題は？】

質の高いサービスを継続的に提供するためには、何よりも人材の確保が重要です。

当団体ではケアマネジャーとホームヘルパーの方々を募集中です。

【工夫している点】

利用者の誰からも満足していただけるサービスの提供に心がけています。

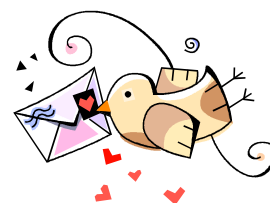
また、スタッフが働き甲斐のある環境づくりを継続して努力しているところです。

【今後の方向性、展開】

一番目にはスタッフ一致団結して、早期に事業を軌道に乗せる（黒字化）ことです。

二番目には介護福祉士の資格所有者や介護支援専門員を配置することです。

このことにより、利用者に安心・安全・安楽に過ごせるディサービスやグループホーム等の事業展開も可能になり、福祉サービスの総合的提供を目指す予定です。



データでみる NPO 活動

～NPOの自治体との協働意向～

平成 19 年度千葉県 NPO 活動実態・意向調査報告書より

21 世紀における日本社会が直面する福祉、環境、まちづくり、失業などの社会問題は、NPO、行政、企業等の第三セクターによる新しい協働関係が、その解決の重要なシステムになると認識されています。このデータは、千葉県発行の「NPO活動実態・意識調査報告書」平成 19 年度版からご紹介します。

＊協働：NPOと行政や企業がそれぞれの持つ力を活かし協調し新たな事業に取り組むこと。

<自治体との協働の意向>

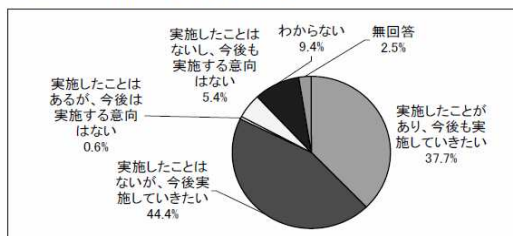
A NPO法人の意向

「実施したことがあり、今後も実施していきたい」が 37.7%
「実施したことはないが、今後実施していきたい」は 44.4%
合計すると 82.1%が、自治体と協働していきたいとしている。
前回調査比では「実施したことがあり、今後も実施していきたい」が 4.2 ポイント高くなっている。

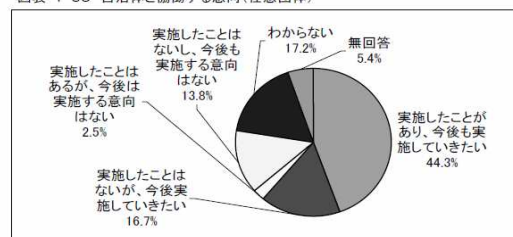
B 任意団体の意向

「実施したことがあり、今後も実施していきたい」が 44.3%
「実施したことはないが、今後実施していきたい」は 16.7%
合計すると 61%が、自治体と協働していきたいとしている。

図表 1-87 自治体と協働する意向(NPO法人)



図表 1-88 自治体と協働する意向(任意団体)



<自治体との協働実績>

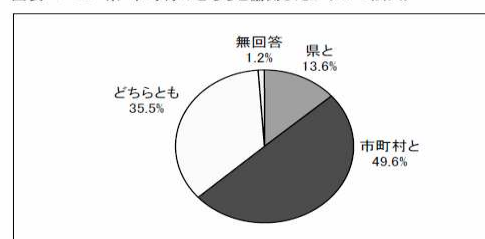
A NPO法人

NPO法人は、「県と」が 13.6%、「市町村と」が 49.6%、「どちらとも」が 35.5%となっている。
協働の中心は市町村が担っているといえる。

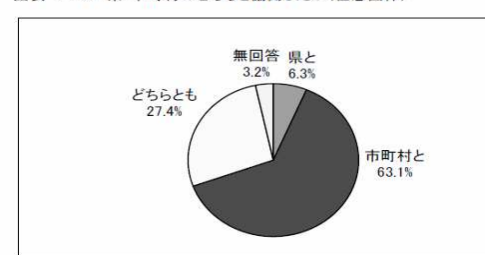
B 任意団体

任意団体は、「県と」が 6.3%、「市町村と」が 63.1%、「どちらとも」が 27.4%となっており、NPO法人以上に市町村との関わりが高い状況となっている。

図表 1-89 県・市町村のどちらと協働したか(NPO法人)



図表 1-90 県・市町村のどちらと協働したか(任意団体)



図書の紹介

NPOと行政・協働の再構築

これまでの10年、これからの10年

著者 山岸 秀雄
菅原 敏夫
粉川 一郎

監修 NPOサポートセンター
発行所 株式会社 第一書林

「協働」の課題は、今NPO、行政、企業にとって、日本社会再生の重要課題のひとつです。21世紀の日本社会にインパクトを与える課題、例えば、福祉、環境、まちづくり、失業等の社会問題は、いずれも新しい協働関係でしか解決できない課題であるという認識が高まっています。本書では

- ① 協働とNPOの役割をNPOの原点に返って検討する。
- ② 地方自治体が直面している「指定管理者制度」等、協働の観点から捉え直し、NPOと自治体の協働確立の試金石にする。
- ③ 協働のルール化、システム化を完成する。

この3点を検討することを通じて協働をさらに高次元の場に移行することを意図したものです。



お知らせ

助成金情報

財団法人 損保ジャパン記念財団（詳しくは当財団ホームページ参照）

＜NPO法人設立助成＞

福祉活動団体の多くがNPO法人格を取得することで、より社会的信用を高め、先駆的な活動を活発化し、ひいてはわが国の福祉向上に大きく貢献することを期待して、NPO法人化を支援するための助成です。対象は、社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体です。

今年度は募集が終わっていますが、来年度も募集する予定ですので、検討しておいてみたいかがでしょうか？

- * 募集時期 毎年4月1日～4月30日
- * 2009年実績 30件 9,000千円

＜NPO法人自動車購入助成＞

福祉系団体のうち、主として障がい者の在宅福祉活動を行う団体を対象として自動車購入費を助成します。

- * 募集時期 毎年9月15日～9月30日
- * 2009年実績 12件 10,570千円



Q&A

任意団体からNPO法人への移行は？

Q. 任意団体からNPO法人への移行はどのようにしたらよいですか？

A. 「千葉県NPO法運用マニュアル」では、NPO法人の設立には次の3パターンがあるとしています。それに対応して、任意団体からの引継については、以下の2つの方法があります。

〔NPO法人の設立のパターン〕a.任意団体が同一性を保持したまま法人となる（いわゆる“法人成り”という法人格取得の形）。b.任意団体が、任意団体としての実体は継続したまま、新たに法人を設立し、活動の一部又は大部分をこちらに移管する。c.前身となる母体のないまま、全く新しく法人を設立する。

〔任意団体からの引継ぎの方法〕a.の場合は一定の確認は団体内部として必要かもしれないが、そのまま法人に移行すればよいので、特に法的な手続を要しない。任意団体の財産は引き続き法人の財産となる。b.の場合は、法的手続が必要となる。任意団体の残余財産は、法人への「寄付」の形ですることになる。（詳しくは「千葉県NPO法運用マニュアル」を参照してください）〈NPO なんでもどこでも相談 100問 100答〉より

・・・☆・・・写真の説明・・・☆・・・

この会は、神輿の好きな仲間が集まり、将来、子供たちのために、希望の持てる故郷づくり、いい地域づくりを目指して設立しました。会のスタートは1993年1月1日です。早いもので、すでに17年の歳月が流れました。3月3日のひな祭り、5月5日の端午の節句、このめでたい日と道野辺八幡宮の大祭日が重なるときは、鎌ケ谷市に益々の繁栄をもたらすものと信じています。そのような時は、「子供和太鼓」「大人和太鼓」「お茶野点」「お琴」「笑福踊り」「子供武者行列」「山車」「大人神輿」などを盛大に繰り出します。

子供たちに楽しい故郷づくりと、街や商店の元気と明るさを取り戻すため、市民の皆様と一緒に祭りを盛り上げたいと思いますので、どうぞ大勢のお出掛けをお待ちしております。

- * 会員数 30名
- * 活動状況 年6回
- * 月会費 1,000円（入会金 0円）
- * 連絡先 鎌ケ谷神輿愛好会 会長 阿部 敏夫
- TEL 047-446-0406

編集後記

鎌ケ谷市内の市民公益活動団体は、NPO法人、任意団体、ともに、大変多くの団体が活動しています。その内容を市民の皆様にご紹介する「市民公益活動便利帳」は今年度末に作成予定です。色んなサークル活動を、一寸した工夫で、地域貢献活動に連携させるための「市民講座」を十二月に開講予定です。

新しい公共サービスの手段として「協働事業」ということが言われています。協働事業に興味のある方は、どうぞ、お気軽に相談窓口にお越しいただき、これからの市民公益活動についてのご意見を承りたいと思います。

※市民公益活動相談日 原則毎週月・金曜日

発行者・所在地 鎌ケ谷市市民活動推進センター 鎌ケ谷市富岡 2-6-1 生涯学習推進センター（まなびいプラザ）1階
TEL/FAX 047-401-0891 / 047-401-0892
URL/e-mail <http://www.collabo-kamagaya.jp/> / sikatu@city.kamagaya.chiba.jp